

5 リース取引

(1)ファイナンスリース取引の処理

①契約期間中に中途解除することができない、②リース物件から得られる利益を実質的に享受することができ、当該リース物件の維持経費などのコストを負担する、といった取引。(契約上は「リース」であるが、事実上「購入」に近いというイメージ。)

・当期首に下記の条件で機械のリース契約を結んだ。

リース期間 5年間

リース料 年額 60,000 円の 3 月末日の 5 回払い

リース資産の見積現金購入価額 250,000 円

この取引はファイナンスリース取引である。利子抜き法と利子込み法で仕訳せよ。

・3月末日、1回目の支払日となり、小切手を振り出して支払った。また、決算日にあたり、当該リース機械の減価償却を行う。定額法により行い、記帳方法は間接法による。利子抜き法と利子込み法で仕訳せよ。

(149 回 1 問改)①X1年 4 月 1 日、リース会社からコピー機をリースする契約を結び、リース取引を開始した。リース期間は 5 年、リース料は年間 ¥ 60,000 (毎年 3 月末日払い)、リースするコピー機の見積現金購入価額は ¥ 260,000 である。なお、決算日は 3 月 31 日 (1 年決算)である。また、このリース取引はファイナンス・リース取引であり、利子抜き法で会計処理を行う。②×2 年 3 月末、一回目の支払いを現金で行った。また、決算整理を行う。

(147 回 1 問)リース会社とパソコン 10 台のリース契約を、リース期間 5 年、リース料月額¥40,000 の条件で結び、パソコンが納品され、同時に第 1 回のリース料 ¥ 40,000 を普通預金から支払った。このリース取引は、ファイナンス・リース取引であったため、利子込み法により処理することとした。

(2)オペレーティングリース取引の処理

ファイナンスリース取引以外のものであり、通常の賃貸借取引に近いリース取引。

・次の条件によってパソコンのリース契約を結んだ。この取引はオペレーティングリース取引である。

リース期間 5 年

リース料 毎年 12 月 1 日に 30,000 円を現金払い。

① リース開始日の仕訳及び②リース料支払い時の仕訳をせよ。

【解答】

5 リース取引

(1)ファイナンスリース取引の処理

・当期首に下記の条件で機械のリース契約を結んだ。

リース期間 5 年間

リース料 年額 60,000 円の 3 月末日の 5 回払い

リース資産の見積現金購入価額 250,000 円

この取引はファイナンスリース取引である。利子抜き法と利子込み法で仕訳せよ。

(利子抜き法)

リース資産 250,000 / リース債務 250,000

(利子込み法)

リース資産 300,000 / リース債務 300,000

・3 月末日、1 回目の支払日となり、小切手を振り出して支払った。また、決算日にあたり、当該リース機械の減価償却を行う。定額法により行い、記帳方法は間接法による。利子抜き法と利子込み法で仕訳せよ。

(利子抜き法)

リース債務 50,000 / 当座預金 60,000

支払利息 10,000

減価償却 50,000 / リース資産減価償却累計額 50,000

(利子込み法)

リース債務 60,000 / 当座預金 60,000

減価償却費 60,000 / リース資産減価償却累計額 60,000

(149 回 1 問改)①X1 年 4 月 1 日、リース会社からコピー機をリースする契約を結び、リース取引を開始した。リース期間は 5 年、リース料は年間 ¥ 60,000 (毎年 3 月末日払い)、リースするコピー機の見積現金購入価額は ¥ 260,000 である。なお、決算日は 3 月 31 日 (1 年決算) である。また、このリース取引はファイナンス・リース取引であり、利子抜き法で会計処理を行う。②X2 年 3 月末、一回目の支払いを現金で行った。また、決算整理を行う。

① リース資産 260,000 / リース債務 260,000

② リース債務 52,000 / 現金 60,000

支払利息 8,000

減価償却費 52,000 / リース資産減価償却累計額 52,000

(147回1問)リース会社とパソコン10台のリース契約を、リース期間5年、リース料月額¥40,000の条件で結び、パソコンが納品され、同時に第1回のリース料¥40,000を普通預金から支払った。このリース取引は、ファイナンス・リース取引であったため、利子込み法により処理することとした。

リース資産 2,400,000 / リース債務 2,360,000

普通預金 40,000

(2) オペレーティングリース取引の処理

ファイナンスリース取引以外のものであり、通常の賃貸借取引に近いリース取引。→途中解約できる、修理代は負担しない。

・次の条件によってパソコンのリース契約を結んだ。この取引はオペレーティングリース取引である。

リース期間 5年

リース料 毎年12月1日に30,000円を現金払い。

①リース開始日の仕訳及び②リース料支払い時の仕訳をせよ。

(リース開始日)

仕訳なし

(リース料支払い時)

支払リース料 30,000 / 現金 30,000